

9 アルマの重ね葺き工法

9-6 下葺材の施工

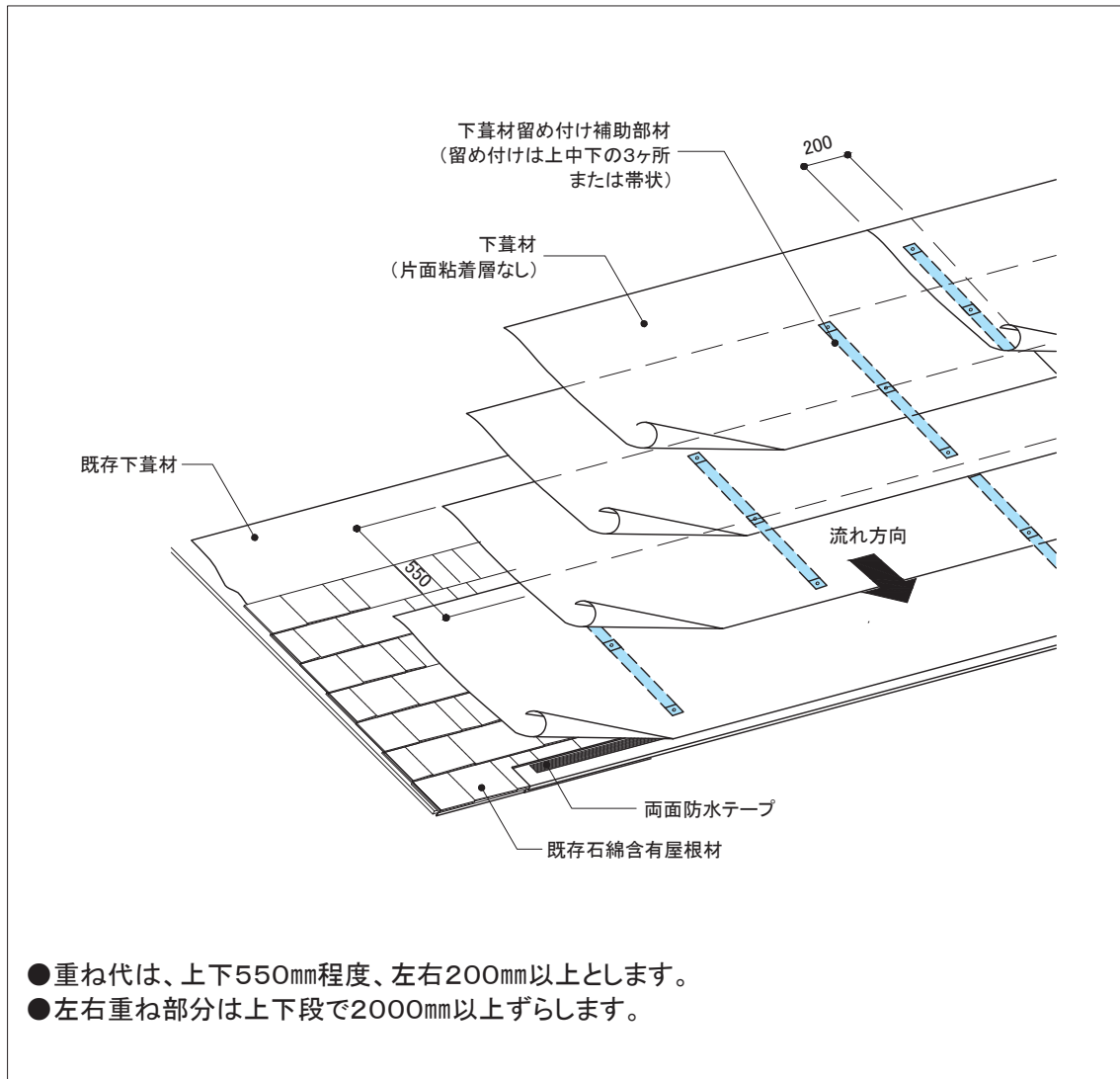
ニチハ『あんしん』屋根カバー工法(多雪)
(既存屋根が石綿を含む場合)

3)ニチハ『あんしん』屋根カバー工法(多雪)

- 本下葺材施工仕様は既存屋根材が石綿(アスベスト)を含むセメント系新生瓦への重ね葺き工法で、「積雪A地域」における「屋根勾配3.5寸以上5.0寸未満」の屋根に適用されます。
- 「積雪A地域」においては、板金役物の接合部には必ずシーリング処理を行います。
また、谷、けらばなど板金役物とアルマとの取り合い部にはシングルセメントを捨て打ちします。

【使用する下葺材】

アスファルトルーフィング940(JIS A 6005)、改質アスファルトルーフィング(ゴムアス):厚1.0mm以上



※既存屋根材が石綿含有建材の場合、建築物の解体工事における各種法令を遵守し、適切に対応してください。

※下葺材の施工は、住宅会社様・工事店様にて保険機構等の仕様をご確認頂き、雨漏れしないよう確実に行ってください。参考として保険機構等の代表例を上記に記載します。